

【別紙】

学びのデザインシート（授業前）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想 【公民／現代社会】

授業者：杉山 裕也

1. 対象（実施を想定する学校・生徒の実態の概要）

1年生に2クラスある選抜クラスのひとつで、授業者が担任を務めるクラス（男子14名、女子19名、ドイツからの留学生1名）である。うち内進生12名、外進生21名。例年の選抜クラスと比べて、初期の学力が低く、特に学習方法の習得、言語表現能力およびコミュニケーション力は過去最低水準（授業者主観）からスタートした。しかし、1学期を通じてAL型授業を実施してきた中で、傾聴の姿勢がとれるようになってきたり、グループワークでのインプットをきちんとするようになってきたり、成長がうかがわれるため、今後の巻き返しに期待が持てる。

2. 単元名「現代の経済社会と私たちの生活1」（全6時間）本時はそのうちの第3時「経済体制の変容」

3. 単元目標 現代の経済体制の特質を理解し、今後どのような経済体制が望ましいか考察する。

4. 本時の目標

今の政府が目指す「Society5.0」を前に、どのような経済体制が望ましいか、経済体制の変容の歴史を踏まえて考察する。

5. 授業展開

解決したい課題や問い

「Society5.0」を前に、政府の経済活動を極力少なくして、個々の企業が自由に活動していく経済体制が必要である」、この意見にどの程度賛成できますか。

考えるための材料

- ① 自由競争に基づく資本主義【自由放任主義】－アダム・スミスの考え
- ② 政府による積極的な経済への介入【修正資本主義】－ケインズの考え
- ③ 資本主義から社会主義へ【社会主義経済】－マルクスの考え

対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

【2分】導入1（問いに対する意見を記入する）

【7分】導入2（これから迎える社会「Society5.0」について解説）

☆本日の課題の提示

【30分】4人ずつのグループをつくり、対話をしながら本日の課題に取り組む

- ①予習してきた資料A～Cの各内容を班員に教える ②ワークシートのGW①とGW②に取り組む

【5分】「Y-Pad」を使い、班の意見を他のグループに発表

【2分】自分たちの解答を加筆修正

【2分】リフレクションシートの記入、提出

学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

B評価（全員が達成すべき目標）

自分たちの考えを示し、それに見合った割合で賛成部分・反対部分を根拠づけて説明できる

A評価（努力して達成すべき目標）

資料A～Cの内容を3点以上含め、自分たちのオリジナリティを1点以上加えて説明できる